

ふくしまの森林文化調査カード

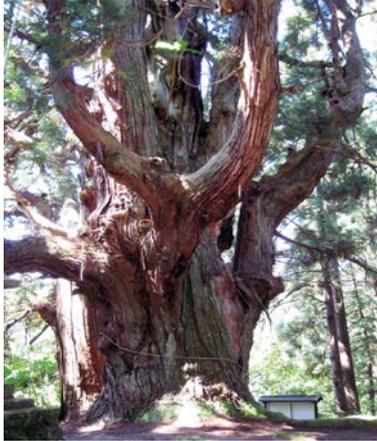
No.50

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 巨木	(ふりがな) きよぼく	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	ふくしまの巨木		
伝承地域	福島県内一円		
由来(年代)	<p>日本では、大きな木には神や精霊が宿るものとして大切に守られてきた。背の高い木や幹の太い木を大木、巨木、巨樹などと呼んでいるが、正式な定義はない。1988年、当時の環境庁は全国巨樹・巨木調査を実施するに当たり、「地上から1.3mの位置での幹周り(胸高周囲)が3m以上、地上1.3mの位置で幹が複数に分かれている場合は個々の幹の幹周りの合計が3m以上で、そのうち最も太い幹の幹周りが2m以上」を巨木とした。2000年には2回目の調査が行われ、合計約68,000本の巨木リストが作成された。福島県では、869件が登録されている。</p>		
内容	<p>環境庁の巨木リストには、会津若松市の「高瀬のオオケヤキ」ほか11件の国指定天然記念物、南会津町伊南の「古町のオオイチョウ」ほか52件の県指定天然記念物、南会津町田島「塩江の五本松」ほか163件の市町村指定天然記念物もここに含まれている。また、林野庁では国有林にあって次世代に残すべき巨木を「森の巨人たち百選」として保護活動を行っている。県内では西郷村の檜桂と呼ばれるカツラ他4本が選定されている。福島県では、郷土の巨樹・名木を「緑の文化財」に指定し未来に継承しようとしている。西会津町如法寺のコウヤマキや桑折町万正寺の大カヤなどが緑の文化財に登録されている。</p>		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	「巨樹・巨木林調査(環境省)」 「森の巨人たち百選(林野庁)」 「福島県緑の文化財」		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 福島県森林整備課(Tel:024-521-7429)		

【フリーフォーマット】

キーワード



左上:温泉神社の大スギ(喜多方市熱塩加納町) 右上:中山の大ケヤキ(下郷町)



万正寺の大カヤ(桑折町万正寺)

古町の大イチョウ(南会津町伊南)